

令和5年度事業報告

(令和5年4月1日～令和6年3月31日)

1 事業の成果

当サービスセンターも、「一般財団法人」としての活動が11年となりました。会員の皆さま、評議員、理事、監事の皆様のご協力のもと、掛川市、御前崎市、菊川市の中小企業で働く勤労者や事業主の皆様の福利厚生事業の推進に努めてまいりました。昨年はコロナ後の社会経済活動が落ち着きを見せる一方、物価高騰等による影響もあり厳しい状況の中でしたが、令和5年度も皆様からの会費及び3市からの負担金等により、各種事業・サービスが提供できましたことをまずご報告いたします。

2 法人事業の実施状況

将来を見据えた持続可能な事業実施、加入事務所・会員の皆さまの様々なニーズにお応えできる福利厚生サービスの提供、経営推進をするため「第2次OK!ワーク経営推進計画」を策定いたしました。

また、最新でわかりやすい情報提供をするため、スマホにも対応したOK!ワークホームページを活用いたしました。

3 事業の実施状況

(1) 健康維持増進支援事業 (定款第4条第1項第1号)

健康維持増進支援では、インフルエンザの予防接種補助事業は1,428人から申請があり1,428千円を補助し、人間ドックの補助事業は1,275人から申請があり、金額で8,925千円を補助しました。

また、4年ぶりとなる「第31回OK!ワークボウリング大会」を開催し、20名の方にご参加いただきました。

(2) 余暇活動を支援するための事業 (定款第4条第1項第2号)

余暇活動支援では、バスツアーを募集しましたが、定員に達しなかったため中止となりました。

一方、好評のご家族で自由に利用できるチケット等の斡旋で、ジェフグルメカード券1,163組、お食事券等704枚、シネマチケット券2,784枚、その他コンサート等チケット等3,241枚、物資斡旋5事業に649人の参加と、多くの方々にご利用をいただきました。中でも、浜名湖花博2024セット入場券には446枚と予定枚数をオーバーしましたが、応募者全員のチケットを用意させていただきました。

施設利用補助金では、延べ 11,101 人のご利用をいただき 4,956,270 円の補助をいたしました。宿泊補助事業等では、富士山静岡空港利用者と併せて 923 人からの利用がありました。

(3) 自己啓発を支援するための事業（定款第 4 条第 1 項第 3 号）

自己啓発支援のための教室開催では、藍染め体験や観葉植物の寄せ植え講座のほか、「ろうきん」様にご協力いただいた「やさしいライフプランセミナー」にも多くのご参加をいただくなど、11 教室に 162 人の参加をいただきました。変更今後も話題性に富んだ魅力ある教室を企画いたします。

(4) 財産形成に係る事業（定款第 4 条第 1 項第 4 号）

財産形成に係る事業では、静岡県労働金庫融資時の静岡県勤労者信用基金協会等の信用保証料補助を実施し 3 名の方に補助いたしました。

(5) 老後の生活を図るための事業（定款第 4 条第 1 項第 5 号）

老後生活安定事業では、静岡県年金福祉協会主催の年金セミナーに協賛し 11 人の参加がありました。退職金共済掛金補助制度は利用が少なく今後も PR に努めます。

(6) 生活の安定を支援するために必要な事業（定款第 4 条第 1 項第 6 号）

共済給付金として、全労済協会から 9,825,000 円、OK!ワーク単独給付として 9,510,000 円を給付いたしました。

(7) その他目的達成に必要な事業（定款第 4 条第 1 項第 7 号）

調査研究及び情報提供事業として、年 6 回の会報の発行、ガイドブックを配布いたしました。また、QR コードから教室の申し込み手続きができるように変更し、申込結果をホームページに掲載するなど利用者の利便性向上に努めました。

こうした事業展開の中、会員事業所数は 28 事業所の減、会員数でも 95 人の減となりました。これは、会員の高齢化とコロナ禍をきっかけとする事業所の廃業も一因と考えております。

今後とも、掛川市、御前崎市及び菊川市をはじめ関係各位のご協力をいただくなか、多くの会員の皆様にご参加いただける事業を企画し、有益な福利厚生事業となりますよう事業を推進してまいります。